

今週の富大生

# Weekly TOMIDASEI

第11号

理工学研究科  
地球生命環境科学プログラム  
地史古生態学研究室 修士1年  
長野県長野西高等学校  
(長野県)

自分自身を見つめて

高校生の時に切り拓いた道へ



## ほとんどが文系に進むクラスから理系へ

小学生の時から英語の勉強が楽しいと感じていて、語学力を伸ばせる国際教養科のある高校に進みました。高校生になって進路について考える中で、幼い頃から親しんできた自然や環境に関心があると気づきました。国際教養科という名前通り、クラスメートのほとんどが文系を選択しますが、「自分が本当にやりたいこと、興味のあることは何だろう」と考え、勇気を出して理系を選択しました。

## 理学部受験のためにマンツーマン指導

理系に進んで授業を受ける中で、いろんなことに興味がありました。特に地学基礎の授業が面白く、もっと知りたいと思うようになりました。しかし国際教養科では、地学の専門の授業がありません。私の希望の進路に進むために物理の先生がマンツーマンで地学の指導をしてくださいました。今でも、本当に感謝しています。そして高校の時の先生の指導がきっかけで、地学の学問にも更に惹かれていきました。

## 幅広い学問系統を学べるところに魅力

富山大学の理学部は物理・化学・数学・生物・地学と幅広い学問分野から環境科学にアプローチしていくのが面白いと思い、興味を持ちました。自然環境に関わる仕事に関わりたと思ったときに、幅広い知識を身に付けられるのは魅力だと思い進学を決めました。

## 山と海がある富山だからできる経験

私は長野出身なので、富山の身近に山もあって海もある環境はとても魅力的です。学習面においても、富山の自然を活かした森林や海の授業もあって、それらを学んでいくうちに様々な分野の話が繋がっていくことに面白みを感じます。研究室を決める際に、自然環境に加え高校の時から惹かれていた地学分野の研究ができる研究室を選びました。

## 研究に打ち込む日々

修士になってからは富山県朝日町のヒスイ海岸での調査をしています。採取したサンプルを持ち帰り、顕微鏡を見ながら化石を取り出して観察していきます。フィールドワークに出る時間より、顕微鏡観察などの室内作業にかかる時間のほうが長いのですが、そのプロセスを楽しんでいます。

## 行政から環境問題と関わりたい

卒業後の進路については、これまでの研究と直接結びつかない部分もあるのですが公務員を目指しています。公務員での業務も幅広いとは思いますが、地元長野で生態系保全や環境モニタリングなどの業務に携わりたいと思っています。



## お世話になった高校の先生へ

勉強面では物理の先生に地学のマンツーマン指導というイレギュラー対応をしていただき、担任の先生には進路も導いていただきありがとうございました。大変な受験期に支えてもらって、感謝しています。